

置き薬・配置薬の社会的啓発活動の動き

1. 3月6～8日「富山くすりフェア」が丸の内KITTE 地下で開催。今回で東京を離れる。
2. 組合まつり（東京都中小企業団体中央会主催）に帝都医薬品配置共同組合が出展

発行：日本置き薬協会 事務局

「富山くすりフェア」は、「富山の薬300年展」開催を契機に、平成5年度から全国に主要都市（42カ所）を中心に行い、18年度からは「おわら風の盆」に期間に富山県内で開催されていた。北陸新幹線開業に併せて27年3月に東京駅丸の内口前のOAZO一階ホールで開催後、会場をKITTEに変え今年で4回目を迎える。中央郵便局直下のJPタワー地下にある会場であり、ビジネスマン、買い物客、観光客など、様々な来訪者に「富山の薬の魅力」を発信しようとの企画で、3月6日（水）～8日（金）に開催される。



「紹介コーナー」で富山の薬の歴史（柳行李、懸場帳、製薬道具等の展示と映像）や、日本一の生産額（28年度6,218億円）となる富山県の医薬品産業（パネルと映像）の紹介、配置薬の展示、一般薬の知識と正しい使い方とセルフメディケーションの紹介、ゆるキャラ「くすりん」によるPR。

「体験コーナー」では薬膳スイーツ・ドリンク・健康茶等の試飲・試食コーナー、薬研で作るドライハーブ入浴剤などを企画。「物販コーナー」では配置薬や富山県の物産（鱒寿司、蒲鉾等）の販売を予定。



「体験コーナー」では薬膳スイーツ・ドリンク・健康茶等の試飲・試食コーナー、薬研で作るドライハーブ入浴剤などを企画。「物販コーナー」では配置薬や富山県の物産（鱒寿司、蒲鉾等）の販売を予定。

富山県の医薬品産業の現状（1兆円を目標）やセルフメディケーションなどについて分かり易く紹介することにより、大きく変化する社会における医薬品や医薬品産業の役割について一層の理解と認識を深める機会の提供を目的としている。実行委員会は富山県、富山市、高岡市、射水市、滑川市、上市町、立山町、富山県薬業連合会、同薬剤師会、同医薬品登録販売者協会、同医薬品卸業協同組合、同医薬品小売商業組合で構成。なお次回は（一社）北海道医薬品配置協会の協力の下、札幌市内での開催が決定されている。東京丸の内でありながら来場者平均が6,600人と費用対効果が乏しい、各地協会が生産県富山の直接の広報活動の展開を希望などが移転の要因との事。予算規模は東京での700万円から600万円となる。

富山県の医薬品産業の現状（1兆円を目標）やセルフメディケーションなどについて分かり易く紹介することにより、大きく変化する社会における医薬品や医薬品産業の役割について一層の理解と認識を深める機会の提供を目的としている。実行委員会は富山県、富山市、高岡市、射水市、滑川市、上市町、立山町、富山県薬業連合会、同薬剤師会、同医薬品登録販売者協会、同医薬品卸業協同組合、同医薬品小売商業組合で構成。なお次回は（一社）北海道医薬品配置協会の協力の下、札幌市内での開催が決定されている。東京丸の内でありながら来場者平均が6,600人と費用対効果が乏しい、各地協会が生産県富山の直接の広報活動の展開を希望などが移転の要因との事。予算規模は東京での700万円から600万円となる。

帝都医薬品配置共同組合（理事長高山友三郎、台東区根岸5-13-9）は厚生労働省の認可組合で、配置販売業者が組合員となり、昭和38年6月に設立された。組合員の出資金を元に経営安定・近代化事業、共同購買事業、事業資金融資事業、福利厚生事業、各種事務代行業等を行っている。

1月30、31日、東京国際フォーラム・ホールEにて開催の「組合まつり～中小企業の魅力発信」（東京都中小企業団体中央会主催）に同組合が初めて参加。同イベントは中小企業世界発信プロジェクトの一環として、東京はもとより全国の中小企業組合が大終結し、組合の知名度アップや組合産品等の展示・販売を通じた販路の拡大等に加え、新たなビジネスチャンスのもととして利用されている。同組合は専用ブースを設け、先使用后利の理念の下、300有余年に歴史と伝統を有する置き薬・配置薬の魅力を来場者に紹介し、取扱い商品の展示・販売を行い、新たな顧客の獲得を目指した。

中央会は、組合の設立及び運営指導、加盟組合と傘下の中小企業の経営・労務・経理・税務・法律に関する相談等が主たる事業活動で、「組合まつり」には中央会加盟の1,728団体中の117組合が参加された。

本件に関するお問合せ先

（一社）日本置き薬協会 事務局

〒332-0034 埼玉県川口市並木2-30-6 内外救急薬品内
Tel. 080-5514-7511（有馬） Fax. 048-251-9657